



小池 利雄 議員

防災対策について

質問(小池利雄 議員)
大田原市地域防災計画に基づき避難所用トイレの設置状況について伺います。
答弁(総合政策部長)
避難所用トイレの設置状況については、平成19年度に購入した簡易便座式トイレが15基と今年度購入した6基を含め21基あり、5160回相当分の排泄物凝固剤を備蓄してい

ます。また、中央多目的公園にマンホールトイレが14基あり、合計で35基の仮設トイレが災害時に対応可能となります。
地域防災計画における避難所のトイレについては、必要な配備基数は39基と想定していることから、平成28年度以降も計画的に備蓄していきます。
本年度購入した簡易便座式トイレは、排泄物を防臭フィル

ムと凝固剤を使用し、電動で1回毎にラッピングするため臭気が少なく衛生的であり、現在の日常生活に近い形での使用ができる点で従来の備蓄品に比べ機能が向上していることから、従来品からの切り替えを含め優先して備蓄していく考えです。



菊池 久光 議員

消防サイレンの吹鳴について

質問(菊池久光 議員)
有事の際の消防サイレン吹鳴の今後の対応について伺います。
答弁(総合政策部長)
消防救急無線については、電波法関係基準の改正により、平成28年6月1日からデジタル方式に移行することになっており、那須地区消防組合の設立と同時にデジタル化しました

が、消防サイレンについてはアナログ式の無線サイレン吹鳴装置のため、使用出来なくなっております。
有事の際には、災害情報メールの配信及び手動による吹鳴で対応しています。また、消防団員の方々には、消防指令センターより、火災発生場所の地図情報を含んだ災害情報メールを配信しています。

無線サイレン吹鳴システム、メール配信によるサイレン吹鳴システム及び市町村防災無線システムを使つての同報無線システムによる吹鳴などの方法については、費用対効果及び他市町の状況を含め、消防団幹部の意見を伺いながら研究していきます。